

2024年11月26日

各 位

オルバヘルスケアホールディングス株式会社
代表取締役社長 前島 洋平
(コード：2689、東証スタンダード市場)

“離島のごみ処理を島内で完結” 「低熱分解型アップサイクルユニットOLSTECH®」 竹富町で運用実験開始

オルバヘルスケアホールディングス株式会社（以下、当社）は、離島のごみ問題を解消する手段として、次世代型ごみ処理機「低熱分解型アップサイクルユニットOLSTECH®」を沖縄県八重山郡竹富町（以下、竹富町）に導入し、運用実験を開始しました。本取り組みは、離島の抱えるごみ問題を解消し、“島内完結型”の持続可能なごみ処理システムの確立に向けた画期的な一歩であり、日本国内の離島での初導入となります。

導入の背景と目的

離島では、焼却施設等のごみ処理機能がないことが多く、その場合は島外でごみを処理しなければなりません。ごみの輸送には費用が発生し、さらに環境負荷が高まる懸念もあります。また、離島特有の事情として、海洋漂着ごみや物流パレットも処理せねばならない、という課題もあります。当社はこれらを解決するため、島内で完結できるアップサイクル型のごみ処理機を開発し、このたび国内の離島で初めて竹富町へ導入しました。新たなごみ処理システムを確立することで離島のごみ問題を解決し、地域社会への貢献と、脱炭素社会の実現を目指します。

OLSTECH®の主な特徴

コンパクトな設計とシンプルな構造で、限られたスペースでも利用可能です。“乾留”技術を用い、焼却することなく有機ごみをおよそ300分の1のサイズに減容できます。また、低熱によって有機ごみを分解するため、焼却処分に比べて二酸化炭素排出量を大きく削減することができます。処理された物質は資源として再活用が可能なためサーキュラーエコノミー（循環経済）の実現にも繋がります。

今後の展開

日本において、離島のごみ問題は解決すべき大きな課題です。竹富町での運用を皮切りに“島内完結型”のごみ処理システムを確立していきます。ごみ処理という社会が抱える問題の解消を通じて、持続可能な社会の構築を目指します。

(お問い合わせ先) オルバヘルスケアホールディングス株式会社 管理本部

TEL：086-236-1115 E-mail：info@olba.co.jp

▼ 2024年11月25日に開催されたOLSTECH®運用実験の記者会見会場にて



(左：竹富町の前泊町長、右：当社常務取締役の桑村)

▼ 運用実験のために小浜島（竹富町小浜）に設置されたOLSTECH®と、視察に来られた沖縄県の各自治体の方々



◎ご参考：竹富町プレスリリース

<https://www.town.taketomi.lg.jp/topics/1732434188/>

以上